

今回が最後の演習です。デジタル化社会で取り残されないために、インターネットの活用方法を修得しましょう。

1) ブラウザを起動する。

jnetscape &

2) 学外のホームページを見るための設定を行う。既に学外に接続できる人は必要ありません。

- ・総合情報メディアセンターの HP を開く。

<http://www.ip.media.kyoto-u.ac.jp/>

- ・「FAQ」( HP 左上部 ) をクリックする。
- ・「UNIX (HP-UX) ワークステーション編」をクリックする。
- ・「その他」( 画面下部 ) の「Netscape で学外のページが開けません。」をクリックする。
- ・指示通りに設定する。( テキストにも記載されています )

このように、「自分で調べて自分で行動する」ことが非常に大切です。大学は保育園じゃないので、自分から求めない限り何も与えられないと考えておくべきです。勿論、教授が講義はしてくれますが、それほど大したことはありません。これまでのように、教科書に書いてあることだけを理解したら十分とっていたら大間違いです。積極的に最新の情報を吸収し、自分で判断・評価できる力を身に付けましょう。今回は、そのための演習です。

3) 京都大学内のホームページを知る。

- ・京都大学の HP を開く。

<http://www.kyoto-u.ac.jp/>

- ・「工学部・工学研究科」をクリックする。
- ・京都大学の HP に戻る。
- ・「附属図書館」をクリックする。
- ・蔵書検索「京都大学 OPAC」をクリックする。
- ・書名欄に「燃料電池」等のキーワードを入力して、「京大 OPAC 検索開始」をクリックする。
- ・附属図書館の HP に戻る。
- ・学内向けサービス「電子ジャーナル」をクリックする。
- ・京都大学の HP に戻る。
- ・「大型計算機センター」をクリックする。
- ・「プログラム講習会」をクリックする。
- ・「プログラム講習会の案内(平成 13 年度)」をクリックする。

このように、京都大学内には様々な利用価値の高い HP があります。利用するのも利用しないのも自由ですが、現在の高度情報化社会では、質の高い情報を素早く入手する能力が決定的に重要であることは肝に銘じておくべきでしょう。

世の中には無数のサイトがありますが、役に立つサイトのいくつかを紹介します。個別に紹介するのは大変なので、私個人のリンク集を参考にして、後は自分で情報収集に励んでください。

4) 加納のリンク集を利用する。

・加納学の HP を開く。

<http://www-pse.cheme.kyoto-u.ac.jp/~kano/>

・「リンク」をクリックする。

このリンク集には、個人的に利用することが多いサイトを集めてあります。ただし、本当に頻繁に利用するサイトは「お気に入り」に登録してあり、リンク集には掲載されていないものが多いです。ともかく、役に立ちそうなら使ってみて下さい。

#### 【 課題 】

以下のキーワードから2つを選択し、インターネット上で情報を検索・収集し、その内容を数行にまとめなさい。なお、文章の作成には MULE を利用すること。まとめた内容をファイルに保存した後、印刷して提出しなさい。氏名と学籍番号は必ず記入すること。

- A) 燃料電池
- B) サプライチェーンマネジメント
- C) カーボンナノチューブ
- D) ダイポールモード現象
- E) デリバティブ(金融派生商品)
- F) コージェネレーション
- G) バイオインフォマティクス
- H) BIS 規制
- I) 日本版 401(k)
- J) 光触媒

なお、日本語キーワードを検索サイトに入力する際には、一度 MULE で日本語を入力した後、検索サイトにコピーして下さい。現在、日本語入力には対応していないらしいです。どのキーワードも、意味は知らなくても、名前を聞いたことはあるはず。もし5個以上聞いたことがなければ、自分の情報収集能力に疑問を感じた方が良いでしょう。もっと流行に敏感になりましょう。もし8個以上聞いたことがなければ。。。コメントは差し控えます。

以上